

信州子どもの絵画百年館展



8月11日(金)~18日(金)



第679号
 発行人●豊丘村公民館 館長 原 国人
 編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
 (9月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,345人
 女 3,415人
 総人口 6,760人
 世帯数 2,129戸

信州子どもの絵画百年館展 記念イベント

子ども美術教室開催

体を使った楽しい芸術体験を

信濃教育会の「信州子どもの絵画百年館」で、中央入選し保存されている一万七千五百点から、豊丘村の小学生の作品を集めた「信州子どもの絵画百年館」が八月十一日から十八日まで、ゆめあそびで開催された。展示されたのは、一九八七年〜二〇一四年までに描かれた六十五点で、絵の制作者は家族と一緒に訪れ、子供の頃描いた絵を懐かしそうに眺めていた。

この展示にあわせて、記念イベント「具原先生による子ども美術教室」が開催され、午前は保育園児から小学校低学年を対象に表現遊びが、午後は小学校高学年から中学生を対象に色彩教室が行われた。

「子ども美術教室」は、息子が三歳の頃、紙の隅っこに収まり良くお絵かきするのを見て、なぜもとのびのび描けないのだろう？口うるさく喋って消極的になってしまったのかと

達。机をぐるぐるとテープで囲い陣地を確保しているかの様子。テープを部屋の端から端まで伸ばしている子。何本かのテープを編み込む子。お父さんに抱えてもらって屋根を作る子。もともともっと！と子ども達の創造力で楽しい皆ができました。作品を鑑賞した後には片付けの時間。さつきまで作っていたものを何の躊躇もなく豪快に壊すこともまた楽しめる子ども達。

心配になりました。そこで自宅の物置の壁に親子二人でお絵かきをしました。最初は汚れない様に小さく描いていたのが、だんだん絵の具を手に塗りたくり大胆に生き生きと描くようになりました。

作させてくれて子どもの感性を解放してくれる場合は、彼らの精神をも豊かにしてくれる気がします。

子ども美術教室に参加して

林里一 峯 瑠璃



色彩教室の様子

赤・黄・青が三色げん色だということ。一番強い色が黒、一番弱い色が白。これは、美術教室で学んだことです。

白にすこしずつ黒をたしていき真っ黒にしていくのが一番むずかしかったです。家でもやってみようと思います。子ども美術教室へ行ってみたいですね。

生がしっかりと学習し、今後の人生に活かしてくれると思います。

公民館学習会 満蒙開拓と私の人生

公民館学習会に参加して

柿外土近藤千花

私は、三十年ぶりに故郷へ戻って来ましたが、公民館のクラブ活動、学習会には今まで都合で参加する事ができませんでした。今年度四月から初めて公民館学習会に参加させていただきました。今年度の学習テーマの中に満蒙開拓があり、七月には満蒙開拓の歴史について平和記念館の事務局長である、三沢重紀さんの話、八月には満蒙開拓を語りつづ活動をされている、筒井芳夫さん、飯田市の中学校教師の大橋春美先生のお話を聞く事ができ、充実した学習会でした。

飯伊は約八千四百人、河野村・神稲村からも多くの方が渡満しました。国からの戦略的な入植をされていたへんな思いをしました。今こそ私達は満蒙開拓の歴史の意義を学び、この問題にしっかりと目を向けて学ばなければならぬ。戦争を知らない私達、戦争でたいへんな思い、経験がされて生きて来た方達、皆で改めて戦争の惨さ、人間のおろかさ、人類がおこした重大なる過ち、もう二度とあの様な戦争はいやだ、させないと声を上げる事の大切さを感じました。

先日豊丘史学会の「豊丘風土記」を購読させていただきました。この本の中に四名の中学生の生徒の記事がありました。満蒙開拓に対しての思い、感想にとて心をとられました。これからの未来ある中学

満蒙開拓と私の人生

今、安倍政権は、憲法九条に自衛隊を明記しようとしています。最近、戦争をする国づくりへと進んでいる様に感じる今の政治。戦争は人間がおこす、しかし戦争を止めるのも人間です。今、満蒙開拓の語りべとして証言をする方達が生きていく内に伝えたい、伝えなければと使命感、平和への願いから運動の輪が広がっています。

先日豊丘史学会の「豊丘風土記」を購読させていただきました。この本の中に四名の中学生の生徒の記事がありました。満蒙開拓に対しての思い、感想にとて心をとられました。これからの未来ある中学

生がしっかりと学習し、今後の人生に活かしてくれると思います。

「トビ」の恩返しはないの？

「トビ」の恩返しはないの？」家族が笑っている。世の中何かと騒がしい。いろんな物が落ちてくる。大雨・雷・ミサイル。我が家ではトビだった。

先日ゆうがた、家の裏庭にトビが落ちていた。落ちていたと言っているのか、ゆうがたになりカーテンを閉めに行ったら何か白い物がフワアと舞っていた。何かと思つて窓から見たら鳥のトビが二羽取っ組み合い状態で、下になったほうはくちばしでつつかれ流血、羽毛が飛びちっていた。家族に知らせ庭に出て行った上になつていたほうは飛び去って行った。

縄張り争いだったのか。傷ついたほうは動けずいたが興奮して威嚇してくる。どうしたものか、暗くなってきたし。トビは肉食で夏のレジャー海の家やバーベキューをしている人間の食料をうばうとユースでやっていたのを思い出し、家の中へ避難。二時間ほどして見に行ったら飛べたのかいなくなっていた。庭では今だに羽毛が枝にひっかかっている。ピーヒョロロと声を聞くと思わず空を見あげて元気でいてほしいと思う。

「トビ」の恩返しはないの？

「トビ」の恩返しはないの？」家族が笑っている。世の中何かと騒がしい。いろんな物が落ちてくる。大雨・雷・ミサイル。我が家ではトビだった。

先日ゆうがた、家の裏庭にトビが落ちていた。落ちていたと言っているのか、ゆうがたになりカーテンを閉めに行ったら何か白い物がフワアと舞っていた。何かと思つて窓から見たら鳥のトビが二羽取っ組み合い状態で、下になったほうはくちばしでつつかれ流血、羽毛が飛びちっていた。家族に知らせ庭に出て行った上になつていたほうは飛び去って行った。

縄張り争いだったのか。傷ついたほうは動けずいたが興奮して威嚇してくる。どうしたものか、暗くなってきたし。トビは肉食で夏のレジャー海の家やバーベキューをしている人間の食料をうばうとユースでやっていたのを思い出し、家の中へ避難。二時間ほどして見に行ったら飛べたのかいなくなっていた。庭では今だに羽毛が枝にひっかかっている。ピーヒョロロと声を聞くと思わず空を見あげて元気でいてほしいと思う。



「下伊那のなかの満州」聞き書き報告書について説明する筒井芳夫さん

(正木淳子)

リニアの声 第14回

リニア中央新幹線に期待する

林原 片桐伸彦

私の仕事は、土木工事に
関係する会社に十八歳から
約四十五年間勤務し、道路
工事・トンネル・橋梁など
の工事を経験し、現在は、高
速道路の維持管理を行う会
社に勤め、毎日止まらない
高速道路を守っています。

さて、リニア中央新幹線
が、東京より山梨県、長野
県を通過し岐阜県、愛知県
をまたがり今後は、大阪ま
でのルートの新設すること
で日本の大動脈となるよう
計画されています。

リニアのルートは、赤石
山脈をくりぬき、大鹿村、小
渋川、豊丘村、坂島、壬生沢
トンネル口、喬木村、飯田
市(リニア駅)座光寺、飯
沼、中央山脈の経路で新設
されます。その中で豊丘村で
は、トンネル二本、変電所、橋
梁などの構造物が新設され、
現在では、工事業
者が現場事務所・工
事用道路・土捨て
場など本工事に向
けての準備・仮設
工事などを行って
いるところです。

現在のトンネル
の施工は、全線坑
口掘削を行うので
なく、長大トンネル
となると、避難坑を
掘削して本坑掘削



工事車両通行のために退壁所の整備がすすむ林道大島虻川線

を行う施工の仕方となりま
す。今回も坂島の避難坑・壬
生沢の仮設運搬トンネルも
同様に行くと聞いています。
又、赤石山脈を貫く大鹿村
のトンネルも非常に興味が
あるところです。

現在の土木の技術力は、僕
らが現役のときと比べ、大
変向上していて驚くばかり
です。地元では、土捨て場・
水問題と心配する意見も上
がっていますが、土留め工

事・漏水・止水壁などの構
造物を新設することで、か
なりの割合で防止する技術
力があると思います。

又、現状道路を工事施工
のため改良していますが、リ
ニア工事後地区が便利に使
用できるよう、JR東施工
業者などと協議し、施工をさ
せ、アフターケアにも議論
補償が大事だと思っています。

リニアを使えば、東京か
ら四十分・名古屋から二十
分(予想では、飯田駅一時間
に一回停車)の時間で利用で
きます。そのことで、空気が
きれい、食べるものもおい
しく、豊かな自然が豊富で、
人間のいい、ここ豊丘村
に来てもらえる機会を目的
前にしているわけです。前
前向きに取り組む、今後発
生する問題を地元と一緒に
解決することが必要です。
私も一度リニアに乗れば
いいなと思っています。

公民館登録グループ活動紹介 第8回

いきいき楽農塾、
大地の恵みを学びいただき、20年

代表 寺沢宣勝

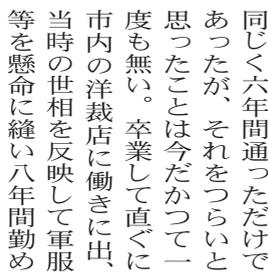
「いっけんのうじゅくです」と
言う、どこで牛を飼って
いるのですか?と聞き返さ
れることがよくある。しかも、
大量に飼っていると思われ
るらしく、そんな場所が豊
丘にありましたっけ?と想

像をふくらませてくれる。
らくのうじゅくは漢字で
『楽農塾(正式名称は豊丘
いきいき楽農塾)、農を楽し
む会。平成九年創設、現在
会員数二十一名、平均年齢
は七十才を充分越えてい
る。その頃、耕作放棄地の
問題が世間の耳目を集める
様になった。

ここ豊丘村でも、役場や
JA、農業改良普及センター
を中心にその対策が考えら
れ、その中から定年退職者
にもう一度野菜作りや農業
を学び直してもらい、共同
圃場として遊休農地を活用
するという一石二鳥のアイ
デアが生まれてきた。

似たような団体が農業普
及員を通じて下伊那各所に
も誕生したらしいが、現存
するのは豊丘のみとのこと。
会名に込められた「いきい
き」を実践してきた先輩達
の真摯な営みが今日まで二
十年の歴史に現れている。
会の活動は四月のジャガ
イモ植え付けからはじまる。
圃場を泉龍院下に借り七月
に収穫、同時にそぼ
の種まき、とよおか祭
りに向けての白菜・
王滝かぶの準備は九
月と結構忙しい。

今年のジャガイモ
は大半を保育園の子
どもたちへのプレゼ
ントとした。



白菜の大収穫を夢みつつ

秋も深くなった頃
みんなで他府県の農
業先進地に見学旅行

も誕生したらしいが、現存
するのは豊丘のみとのこと。
会名に込められた「いきい
き」を実践してきた先輩達
の真摯な営みが今日まで二
十年の歴史に現れている。
会の活動は四月のジャガ
イモ植え付けからはじまる。
圃場を泉龍院下に借り七月
に収穫、同時にそぼ
の種まき、とよおか祭
りに向けての白菜・
王滝かぶの準備は九
月と結構忙しい。

今年も深くはなつた頃
みんなで他府県の農
業先進地に見学旅行



女性用作業帽子を携えて

波瀾万丈人生に悔いは無し

シリーズ「元気が高齢者」③⑥

唐澤コチヨさん
九十歳
木門在住

大正十五年、飯田市伊賀
良で果樹園を広く手がける
両親の元、十人きょうだい
の次女として生まれた。父
親は本業の傍ら、獅子舞の
指導員、習字の先生、詩吟
も嗜むという多才であり近
所の人達を幅広く指導して
いた。子たくさん故に家計
は厳しく、学校へは三女と
同じく六年間通っただけで
あったが、それをつらいと
思ったことは今だかつて一
度も無い。卒業して直ぐに
市内の洋裁店に働きに出
た。当時の世相を反映して軍服
等を懸命に縫い八年間勤め

た。その間、市内で大火が
あり製造機械を近くの愛宕
神社へ運んだこともあった。
母親は子供十人を出産して
間もなく、体調を崩し入院
したが、三女が付き添い看
病してくれ、コチヨさんは
専ら働き家計を助けた。

叔母の世話で二十五歳の
時に結婚し現在地へ来た。
当時は米、柿等を作ってい
た。昭和四十七年に国から
資金を借り共同で整地して、
自家は十二アールの土地を
割り当てられ、梨を植えた。
梨はコチヨさんの強い希望
だったので一生懸命であっ
た。梨はまだ幼木だったの
で別の収入源を得るため農
協の支援の元、梨の木の間
へ野菜を四年間作り、棚張
りをする寸前に、二期目の

村議を勤めていた御主人が
亡くなってしまった。長女
を嫁に出して直ぐの五十歳
になる直前であった。それ
からは悲しみに浸る暇も無
いまま、耕耘機の免許をと
り、農業指導員の指導を受
けながら必死に働いた。主
人に続くように姑さんが亡
くなり、以後は二十一年間
一人暮らしであるが、同じ
木門に住む三歳の妹とは
常に行き来があり、また飯
田市に住む娘二人が孫と共
に交替で訪れてくれるので、
寂しいと感じることはない。
話を伺う中で大いに感服
したことがある。ご主人が
亡くなってから始めた日記
を毎日書き続けていること
である。また書道の大家で
あった父親の手ほどきを、



狼煙は、古代から重要な
通信手段で、世界各地で用
いられた。わが国の戦
国時代においても敵方の動
きをいち早く伝える台図で、
TVの時代劇の場面にも登
場し良く知られています。
昔の通信手段であった狼
煙をリレーすることで遠く、
武田信玄の活躍した戦国時
代に思いを馳せ、行政の区域
を越えて地域の連携を図ろ
うという、壮大なイベントが
今年、十回目を迎えました。
九月二日(土)の朝、「武
田信玄狼煙上げ」が、上伊
那郡箕輪町から南下して根
羽村までの十三市町村、二
十七か所をリレーして行わ
れました。豊丘村では、飯

伊の公民館関係者らによつ
て結成された武田信玄狼煙
会の呼び掛けに添えて、こ
のイベントに参加して六回
目になりました。

当日は台風の影響で少し
風があつたものの天候に恵
まれ、林原運動公園を会場
に、公民館社会部、史学会、
林原木門地区役員の方々が
参加して準備が進められ
ました。三本の竹杭で組ん
だ檣の上に、地元の協力で
集められた軽トラック三台
分のスギの葉を積んで準備
を整え、木下正道史学会長
から狼煙の歴史についてお
話を聞いた後、対岸の高森
町の吉田茶臼山、吉田古城
から狼煙が上がるのを確認

のの様子を見守ることができ
るのは何よりの楽しみであ
る。きょうだいの七人が健
在であるが高齢のため皆が
集まることはなく寂しさが
ある。中でもコチヨさんが
最も元気。若いころ通勤に
四kmの道を歩いたことが現
在の健康に繋がっていると
思う。



その後、喬木村の二か所、
飯田市内上久堅の神の峰へと
伝わり、同市山本の水晶山
や下條村の極楽峠の狼煙ま
で遠望できました。

この催しは山梨県方面に
も広がっており、将来は
『躑躅ヶ崎館』(つじがさ
きやかた) 甲斐国守護武田
氏の本拠である甲府に築か
れた館で、守護所があつた。
現在、跡地には武田神社が
ある。までリレーすること
が期待されています。

(公民館長 原 国人)

波瀾万丈ではあったが充
実した人生であり、後悔し
たことはないと言調された。
文責 桐崎 長一
宮下 正弘

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.166

スネケブカヒロコバナカミキリ (カミキリムシ科)



モズの高鳴きを聞く季節になった。今年もあと三カ月半。それにして、あと三カ月半とは早すぎる表現だが、それには、それなりの意味がある。

私は今年一年間で、伊藤先生が二十八年間（一九四五～一九七二）かけて確認したトンボ六十八種の再確認調査中。四十三市町村（ちなみに豊丘村が河野村

今年の大会は、地域や友人、職場、消防団などで構成された五十チームが参加し、こぶしチームとあかまつチームに分かれて、一試合五十五分を戦いました。出場者の中には、複数の試合に出場する強者や、ホームラン賞やファインプレー賞を続けて獲得する選手もおり、恒例となった夏の祭典は大いに盛り上がりました。大会の総インニング数は一〇六インニング、総ホームラン数は六十四本と、いずれも例年に比べて少ない数字で、こぶしチームとあかまつチームの接戦がうかがえる結果となりました。



夜間にも白熱した試合が行われた

24時間ソフトボール大会

212対206で、あかまつチーム優勝

好プレーあり 珍プレーありの 二十四時間 二十四時間ソフトボール大会 実行委員長 中園 紘

平成二十九年年度の二十四時間ソフトボール大会が去る八月二十六日（土）二十七日（日）に行なわれ、今年で二十九回目となりました。昨年は途中雨による中止となり残念な年でしたが、今年も二日も真夏の陽気で大変暑く、水分を補給しないとやれない状況でした。そのため、サーブのかき氷が好評でした。

今年の参加チームは昨年と同じ五十チームで、組合せも試合時間も適度な状態で良かったと思います。二十六日（土）午後三時プレーボールに先立ち菅沼副村長による始球式がありました。ストライクに近いノーバウンドのナイスボールでした。引き続き少年野球

と神稲村だったころの一二三ポイントへの挑戦。九月十二日現在、八二五。あと三八九ポイント必要。そんな訳で。今日は、それこそ、自然に、それも身近な所（滝川）に、こんな美しい虫がいるとは。名前は、スネケブカヒロコバナカミキリ。図鑑には、本州（近畿以西）・四国・九州・隠岐・対馬とある。（山田 栞

は接戦でした。今年も準備が片付けを完了。昨年同様ホームラン賞等の景品を用意しましたが、景品が余ってしまったこともあり、来年はライト側の二塁打を甘くみてフリーにしてはどうかと思いました。試合を振り返って見ると、日中に行なつたチームは汗を流し大変暑そうでしたが、夜から深夜に行なつたチームは快適な陽気であったようです。試合は好プレーあり珍プレーありで皆楽しんでいました。印象に残る試合は、48対48（ヨシバチ）オールスターズ対オール南の試合でした。両チーム共守りが良く、48対48（ヨシバチ）オールスターズの小石峰誠投手とオール南の菅沼光貴投手の投げ合いが、強打者となつて、強打者といえど、打てるものではないと、引き締まつた試合となりました。この様な試合を多くの人に観てもらいたいと思つています。今後とも期待しています。二十四時間終了の得点結果はこぶしチーム二〇六点、あかまつチーム二二二点、その差六ポイント終つてみ

ば接戦でした。今年も準備が片付けを完了。昨年同様ホームラン賞等の景品を用意しましたが、景品が余ってしまったこともあり、来年はライト側の二塁打を甘くみてフリーにしてはどうかと思いました。試合を振り返って見ると、日中に行なつたチームは汗を流し大変暑そうでしたが、夜から深夜に行なつたチームは快適な陽気であったようです。試合は好プレーあり珍プレーありで皆楽しんでいました。印象に残る試合は、48対48（ヨシバチ）オールスターズ対オール南の試合でした。両チーム共守りが良く、48対48（ヨシバチ）オールスターズの小石峰誠投手とオール南の菅沼光貴投手の投げ合いが、強打者となつて、強打者といえど、打てるものではないと、引き締まつた試合となりました。この様な試合を多くの人に観てもらいたいと思つています。今後とも期待しています。二十四時間終了の得点結果はこぶしチーム二〇六点、あかまつチーム二二二点、その差六ポイント終つてみ



奥里の春を告げる 堀越地区総出の祭り

春になると寒い冬から開放され、花を探しにふらつと村内を巡ることがある。とくに堀越という場所は、村の人でもすぐに道順を描くことは難しい。自分はいつも長沢線を上り、今年の管見塚の桜の様子を見ながら集落一帯まで向かう。堀越氏神様と春日神社の周辺は、昔はかなり大きな森になつており、庄屋であつた河野家の氏神が祀られて、その脇にひっそりと祠を構えた春日神社があつたという。何本もの大木はやがて

伊勢神宮の遷宮に献木するため、十二本もの大木を大鳥居のために切り倒したとされる。寛政九年ころに今の石段と石の鳥居や境内と舞台も併設され、地域にとつて唯一の大衆娯楽の要を形成してきた。神社併合の折りは一時期河野諏訪神社と統合されたが、近年になりまた元の春日神社になった経緯がある。



2005年4月早朝祭りの後の境内桜

堀越地区は地域のつながりも強く、春祭りには総出で境内に集まり獅子舞と囃子屋台に人だかりができていた。小さいながらも露店

には業者を入れずに、祭り実行委員が子どものために店を出している光景にも、里の祭りを実感することができた。この様子を取材してきた豊丘村有線の阿部さんの若い姿に懐かしさを感じた今から二十年以上前の出来事であった。写真と文／宮下正弘

露含み白より白し花木様 磯部セツ子
主留守一部始終の蝉しぐれ 田中 静
秋茄子の色の際立ち絵筆取る 片桐 洋子
朝寒くほおずき落つる草の中 下平 玲子
朝刊をだまてバイク夏至となり 三島 保子
にぎわいの水上花火湖の宴 三島 里子
端居して葉擦の音に身をさらす 木下 眞水
雪溪を駆けるかもしか影連れて 松岡 照子
夏霧の病床仕切る電車音 宮下 公
物わかりよすぎる日や水菓子 宮下 純子
夏休み手を取り合ひて里帰り 丸山 時子
木漏れ日を分けし深山の濃紫陽花 林 恵美子
木に幾度いのち吹きこむ法師蟬 北原 昭子

（短歌会 夢あるて）
三脚のバランスくずし落下するしばし休めと天の声聞く 松下 泰見
灼熱の割れ目に深く根を張りてここで生きむと種をつけおろし 福澤貴美恵
落雷でテレビの見えぬ日の夕餉きゅうり噛む音しやしき響く 眞由美
人参がここに育つをなぜ知り黄あけは一匹舞いて立ち寄り 筒井 恵子
早そうと四方に跳ねよ雨蛙家主の蛇に気づかれぬうち 松尾ヒサコ
夢を見るそれが生甲斐につながりて同じ夢三夜も観たる若きは 富永 博道

（あしたは短歌会）
庭先に草取りおれば子雀がチュンチュン啼いて我を励ます 久保田 妙
誕生日と卒寿のよろこび織りこみて「ゆつくり歩け」と乾杯の声 毛涯百合子
日曜日の猛暑続きに耐えきれず喫茶店にて冷えたあんみつ 大倉 知江
巣立ちたる空き家のそばに巣造りす身の燕か子育てはじむ 壬生 千春
照り返す舗道を帰る野球少年ユニフォームの文字に吾子を重ねる 北澤 秀子
穴あきのジーパン流行りと孫のいう吾も若き日は破れ学帽 福澤 亀人

〈豊丘川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「葉」吉川 燎 選

生き甲斐は孫子の言葉励まされ 市沢 照子
敗戦忌草葉の陰に父の像 桃沢 健介
豊作を約束して葉の青さ 原 美

軸吟：豊丘の大地に開き緑濃し

▼課題「安」互選

バーゲンの安物買いで後悔す 林 桃子
沖繩の安泰本土人ごとに 山本 義彦
収穫を終えた安堵の味の酒 安田 喜子
国事より我が身安泰議員族 福沢 勝美

▼自由吟 桃沢健介 選

改造もトップの人氣いまひとつ 吉川 燎
美化された大河ドラマで歴史知る 小澤 凜
あの日から七十二年目に浮かぶ 久保ひろし
刈られても根強く生きる草の意地 西元 峯子
軸吟：桃かじるお客の笑顔敗戦忌